

平成30年度事業報告書

事業概要

平成30年度は、公益目的支出計画に関するものとして、毎年実施しているロードレース大会・剣道大会等の参加者への記念品提供、消防救助技術大会の出場隊員への栄養補給品の提供及び月刊誌「東京消防」をはじめとする防火防災に関する図書の発行等に加えて、東京国際消防防災展2018への協賛、消防救助技術関東地区指導会運営支援及び北海道胆振東部地震災害における東京消防庁派遣部隊に対する支援などを行いました。

同支出計画以外のものとしては、例年どおり都民の生命・身体・財産を守ることを使命とする東京消防庁職員が安心して職務に邁進できるよう、団体保険事業及び慶弔援護事業等を行いました。

また、充実した余暇を過ごすために前年度に引き続きグリーンパル湯河原の改修等を行いました。

1 東京消防庁が行う諸施策に対する協力事業(定款第4条第1号事業)

(1) 東京消防庁の事業に対する協力

ア 健康体力増進事業に対する協力

中央総合競技大会(10月下旬～12月上旬、駒沢オリンピック公園総合運動場他7会場)、剣道大会(7月、東京武道館)及び所属長が計画する健康体力増進事業の参加者に対して、賞品、参加賞、記念品、スポーツドリンク等を提供しました。

イ 消防技術向上事業に対する協力

(ア) 消防救助技術関東地区指導会が東京開催(7月、夢の島訓練場他)されたことから、

ロゴマークの作成を始めとした大会運営への協力を行うとともに、例年どおり同指導会の参加隊員及び台風のため中止となった全国消防救助技術大会(8月、京都市)の選手として事前訓練に参加した隊員に対して、Tシャツ等の大会用品、補給物品を提供しました。

- (イ) 国際消防救助隊合同訓練(1月、雲取山)に訓練用具、補給物品を提供しました。
- (ウ) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(11月、横浜市)に訓練用具、補給物品を提供しました。

ウ 教養事業に対する協力

- (ア) 職員・家族総合文化展(8月、東京消防庁スクワール麴町)及び消防職員意見発表会 庁内選考会(翌31年2月、同3階フリースペース錦華)の参加者に記念品等を提供しました。
- (イ) 資格取得技能講習(年度内3回)、自由研修講座(年度内7回)及びカラーガーズ隊員に対するマーチング指導(翌31年2月)に委託講師、委託指導者の派遣及びテキスト等の提供を行いました。また、退職者説明会(年度内3回)参加者にテキストを提供しました。
- (ウ) 消防学校の学生相談(年度内24回)に女性相談員を派遣するとともに初任教養修了者に記念品を提供しました。

(2) 後方支援活動

ア 東京消防庁派遣部隊に対する支援

9月6日に発生した北海道胆振東部地震災害への東京消防庁派遣部隊に対して補給物品を提供しました。

- イ 大阪北部地震及び平成30年7月豪雨災害に伴う現地調査に対して協力を実施しました。

(3) 消防機器等の研究開発及び防災機関が行う行事に対する協力

ア 東京消防庁消防技術安全所が行う研究開発事業に対する協力

各種機器の改良開発、火災鑑定に関する研究、消防隊員の安全管理に関する研究、木造建物の防火性能に関する研究及びドローンの有効活用に関する研究などに対して、研究用資料及び実験用物品等を提供しました。

イ 東京消防庁が行う行事等に対する協力

- (ア) 東京消防出初式(翌31年1月、東京ビッグサイト)の運営に対して協力しました。
- (イ) 大型消防救助艇「おおえど」就航式(4月、晴海客船ターミナル)の来場者に対する記念品等を提供しました。
- (ウ) VR防災体験車(地震発生時の揺れをバーチャルリアリティーで体感できる車)の一般公開(4月、第三消防方面本部訓練場)の来場者に対する記念品等を提供しました。
- (エ) 東京国際消防防災展2018(5月、東京ビッグサイト)の開催に協賛しました。
- (オ) オペレーションセンター(作戦室)の機能強化に協力しました。

(4) その他

職員殉職事案の発生(翌31年1月、八王子市)に伴い事業協力しました。

2 防火防災に関する普及啓発事業(同条第2号事業)

(1) 「東京消防」の出版

防火防災に関する出来事、消防関係法令の解説、消防実務及び最新消防機材の紹介等を内容とする月刊誌「東京消防」を東京消防庁監修の下に、12回計267,600部発行し、会員、消防関係機関に無償配布し、同庁図書資料室(以下「資料室」という。)等に寄贈するとともに購読希望者に有償配布しました。

また、28年度からスマートフォンにダウンロードしたアプリにより音声や動画が視聴できるARを導入していますが、30年度は61本となりました。

(2) 「会員録」の発行

会員の円滑な業務執行等に資するため、都内全消防機関及び消防関係機関の所在、電話番号、所属職員の職・氏名を網羅した「会員録」を21,400部発行し、会員及び消防関係機関に無償配布するとともに資料室に寄贈しました。

(3) 「職員手帳」の発行

会員の円滑な業務執行及び協会が提供している各種サービス等の有効活用に資するため、消防統計、地震災害年表、当該年の防災行事、交替制勤務職員の勤務サイクル並びに協会事業概要及び問合せ先等を掲載した「職員手帳」を21,700部発行し、会員に無償配布しました。

3 消防職員等の保健衛生及び技能向上に係る事業(同条第3号事業)

(1) 予防接種等の支援

インフルエンザ等の集団感染型疾病の予防接種等に要した費用の一部を12,613名の会員及び家族等に対して助成しました。

また、10月からは新たに禁煙外来治療に要した費用の一部助成を始めましたが、30年度の助成件数は1件でした。

(2) 資格取得の支援

職務に必要な資格・技能等の取得に要した費用の一部を323名の会員に対して助成しました。

なお、平成26年度から防火対象物点検資格者など、退職を間近に控えた会員の再就職と当該職務遂行によって消防行政に資することが期待できる資格を追加助成対象とし、30年度は14名に対して助成しました。

(3) 書籍購入の支援

協会売店及び協会の斡旋で書籍を購入した費用の一部を3, 125名の会員に対して助成しました。

4 会員及び家族の教養・文化等に関する事業(同条第4号事業)

(1) 厚生施設の運営

会員及び家族の健康増進に資するため、厚生施設「フリースペース錦華(東京消防庁スクワール麴町3階多目的室)」、「麴町職員食堂(東京消防庁スクワール麴町2階職員食堂)」、「消防学校食堂」及び「グリーンパル湯河原」を通年、並びに「那須山荘」を4月下旬から11月上旬まで運営しました。このうちグリーンパル湯河原については、変電設備機器更新などの計画修繕4件及び緊急修繕17件を行い安全性・快適性を向上させました。

なお、「消防学校食堂」は消防学校の大規模改修工事に伴い、平成30年12月から平成31年3月まで一時的に休業しました。

また、調理研修として飲食業務及び学校給食業務に従事する職員6名を、平成31年1月7日から18日まで、及び1月21日から31日までの2回、それぞれ3名ずつ大手町の(株)サンケイ会館に派遣し、調理に関する知識・技術の向上を図りました。

各施設の利用人員は東京消防庁職員以外の者を含めて次のとおりです。

フリースペース錦華	32, 259名
麴町職員食堂	29, 204名
消防学校食堂	初任学生714期生～719期生 合計629名 初任予防研修、救急救命士養成研等 合計6, 737名
グリーンパル湯河原	8, 750名
那須山荘	2, 109名

注:消防学校食堂の初任学生のみを学生数としましたが、それ以外は全て延べ人員です。

(2) 販売事業

ア 売店販売及び出店販売

会員の業務執行及び職場生活の利便に資するため、本部庁舎及び消防学校の売店において防火防災関係図書・用品及び日用品等を販売しました。

また、例年どおり、東京消防出初式、消防技術安全所一般公開、消防学校実科査閲等の各種行事を捉えて出店するとともに、30年度は東京において東京国際消防防災展2018及び消防救助技術関東地区指導会が開催されたことから、これらの会場においても出店し、消防グッズ等を販売しました。

イ 指定店紹介及び斡旋販売

会員の豊かな家庭生活を支援するため、会員割引で各種商品・サービスの提供を行う指定店の紹介及び会員特別価格による各種商品の斡旋販売を行いました。特に住宅の斡旋につ

いては会員が十分な情報を効率的に得られるように東京消防信用組合の協力を得て住宅関連業者11社合同による住宅相談会(年度内3回、計50名参加)を開催しました。

また、指定店紹介及び斡旋販売を効果的に行うため、ライフサポートガイド「2018指定店のしおり」及び福利厚生ニュース(8月を除く毎月発行)を全会員に配付しました。

なお、28年度から一般社団法人東京都消防協会が賛助会員となったことから、その構成員である都内の消防団員にも隔年(西暦の偶数年)で同ガイドを配布することとしています。

さらに、指定店の充実に努め、今年度はホテルグレイスリー新宿を新たに指定店として登録し、その数は平成30年度末で231となりました。

ウ 書籍販売

デザイン・内容を一新しフルカラー版となった東京消防庁編集の「東京の消防白書2018」を発行し、書籍頒布を求める声に対応するため、本庁売店、消防学校売店及び新宿の都庁舎内において販売をしました。

(3) 団体保険事業

会員及び家族の病気や怪我等に伴う思わぬ出費、さらに不慮の事故等への備えをサポートするため団体保険事業を行いました。

定期募集及び消防学校入校生募集による30年度の新規加入者及び更新者数は次のとおりです。

	定期募集	消防学校入校生募集
新グループ保険	11,599名	642名
積立年金保険	7,758名	261名
傷害保険	14,685名	642名

また、会員が個々の保険会社と契約を結び保険料を給与天引きとする団体扱い保険については、新たに7月から株式会社かんぼ生命保険を給与天引き対象事業者とし、会員の負担軽減と利便性の向上を図りました。

(4) 共助事業

ア 育英事業

新たに会員及びその家族27名に対し、無利子による奨学金の貸し付けを行いました。

なお、今年度末現在、231名の会員が貸付を受けています。

イ 慶弔援護事業

会員及び家族に対する弔慰金、災害見舞金、傷病見舞金、永年勤続賞受賞祝品、結婚祝品及び退会せん別金を贈呈しました。

その内訳は次のとおりです。

弔慰金	31名	災害及び傷病見舞金	51名
永年勤続賞受賞祝品	442名	結婚祝品	621名
退会せん別金	750名		

ウ スポーツ・文化施設等利用支援事業

会員及び家族がスポーツ・文化施設等を利用する際に要した費用の一部を、延べ872名の方に対して支援しました。

また、会員及び家族が東京ディズニーリゾートを利用する際に要した費用の一部を、延べ19,153名の方に対して支援しました。

エ 夏季契約施設提供事業

平成25年度末をもって廃止した下田荘事業の代替えとして、普通会員が夏季休暇期間中に協会が指定する宿泊施設を利用した場合、会員本人一人一泊に限り、その宿泊代の助成を行う事業を実施していますが、平成30年度は164名の会員に対して助成をしました。

オ 内科診療所事業

本部庁舎12階の東京消防協会診療所において、月、火、水曜日を診療日として一般都民を含めて延べ380名の方に対し内科診療、投薬及び血液検査のサービスを提供しました。

また、11月には1,017名の方にインフルエンザ予防接種を行いました。

5 管理・運営事項

(1) 理事会及び評議員会の開催

理事会及び評議員会を次表のとおり開催し、議案は事務局提案の内容で議決承認され、報告事項についても事務局説明内容で了承されました。

理事会	評議員会
第1回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成30年4月18日 議案 「評議員及び役員の一部辞任に伴う後任候補者の決定」の件	第1回臨時評議員会(決議の省略) 日程 平成30年4月18日 議案 「評議員及び役員の一部辞任に伴う評議員及び理事の選任」の件
第1回通常理事会 日程 平成30年5月23日 議案 「平成29年度事業報告及び財務諸表」の件、「平成29年度公益目的支出計画実施報告書」の件、「平成30年度定時評議員会開催」の件	定時評議員会 日程 平成30年6月13日 議案 「平成29年度財務諸表」の件 報告 「平成29年度事業報告」の件、「平成29年度公益目的支出計画実施報告書」の件
第2回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成30年6月21日 議案 「評議員一部辞任に伴う後任候補者の決定」の件	第2回臨時評議員会(決議の省略) 日程 平成30年6月29日 議案 「評議員の一部辞任に伴う評議員の選任」の件
第3回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成30年10月11日	第3回臨時評議員会(決議の省略) 日程 平成30年10月19日

議案「評議員及び役員の一部辞任に伴う後任候補者の決定」の件	議案「評議員及び役員の一部辞任に伴う評議員及び理事の選任」の件
第4回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成31年1月25日 議案「臨時評議員会招集」の件	
第2回通常理事会 日程 平成31年3月13日 議案「2019年度事業計画及び収支予算」の件 報告「2019年度役員報酬」の件	第4回臨時評議員会 日程 平成31年3月13日 議案「2019年度役員報酬」の件 報告「2019年度事業計画及び収支予算」の件

(2) 主たる事務所の移転

東京消防庁スクワール麴町の改修工事の終了に伴い、平成30年9月に主たる事務所を7階から6階に移転しました。